

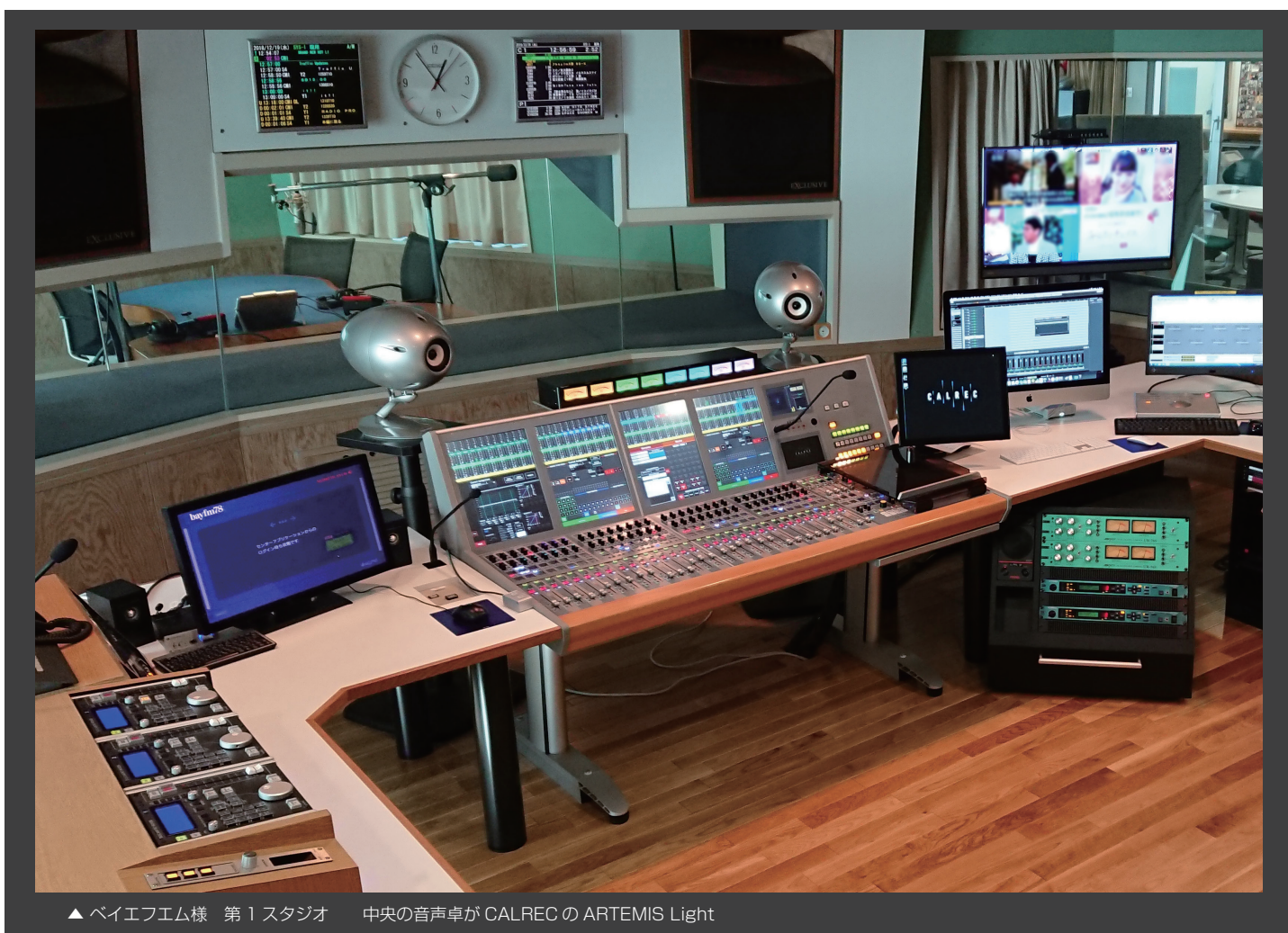
納入事例

ベイエフエム (bayfm78) 様 第 1 スタジオ

ベイエフエム様は、千葉県を主な放送地域とする FM 放送局。全部で 5 つのスタジオを擁し、音楽やニュース、地域のイベントなどを日々発信しています。5 つのスタジオ中で最も大きく旗艦スタジオとされている第 1 スタジオに、CALREC の「ARTEMIS Light」が納入されました。

小規模のライブ演奏や大人数が出演する番組、多目的スペースでの公開生放送など、どんな複雑な用途にも対応する第 1 スタジオ。アナログコンソールをデジタルに変更するにあたり、重要視されたのは【音質】と放送用としての【安定性】。決め手になったポイントを、技術局技術部 技術課長の安齋 宏治様にうかがいました。

運用開始：2018年12月



▲ ベイエフエム様 第 1 スタジオ 中央の音声卓が CALREC の ARTEMIS Light

●「第 1 スタジオ」について

第 1 スタジオ以外の 4 つのスタジオは、純粋に「ラジオスタジオ」としてコンパクトになっているため、大規模なことや複雑なことを行うことはできません。

それに比べて、第 1 スタジオは大きなスタジオで、小規模のライブ演奏や大人数の出演対応、多目的スペースでの公開生放送や公開収録の受けスタジオとしての役割などを持っており、どんな複雑なことにも対応できるスタジオです。そのために、これまでもレコーディング業界で定評のあったアナログコンソールを使用していました。

●アナログコンソールをデジタルに更新するにあたり、重要視したこと

まず入出力数やバスラインの多さが挙げられますが、音楽ものをやることも多々あるため、ある程度のフェーダー数、レイヤー数を確保することは必要条件でした。

そして、トークはもちろん音楽ものもよく行うことからヘッドアンプの性能、音質などを最重要視しました。

また、放送用であることから、安定性、信頼性も重要。万が一、部分的故障が発生しても継続して放送できるということも大きなポイントになっています。

● 「ARTEMIS Light」について

- 直感的に分かりやすい操作性

第1印象は「ボタンが多く、カラフル過ぎて操作が難しそう」と思っていたのですが、実際に触り始めてみると「難しそうに思わせて、実は非常に分かりやすい操作性と色分けによる視認性の良さ」に驚きました。

これまでアナログミキサーだったため、縦軸でのパラメーター操作が基本でしたが、ARTEMIS Lightは、デジタルコンソールで多いセンターオペレーションではなく縦軸で操作できる「ワイルドモード」の切り替えがあり、操作性も受け入れやすかったですね。

普段のオペレーションはエンジニアそれぞれに任せており、それぞれ自分のSHOW DATAを作成して、自分のオペレーションにあったワイルドモード、FIXED LAYOUTなどを作成して運用しています。



▲ ベイエフエム様 第1スタジオに設置されたCALRECのARTEMIS Light

- 音声処理能力の高さ

何よりも音声チェックをしてみて、音質の素晴らしさ、ヘッドアンプやコンプなどの性能に感動しました。音声チェックにはライブ演奏のマルチ素材を使用しましたが、一番音楽らしくまとまるコンソールでした。

まず、ヘッドアンプやコンプ、リミッター等の性能が優れている。ヘッドアンプについては、過大な入力があっても歪みにくい堅牢さがあるし、コンプについては通常であればかければかけるほど引っ込んでいく音声が、しっかりコンプがかかっているながら、引っ込んでいかない。

結果、EQ処理をそれほどしなくても、元の素材の良さをそのまま引き出してくれていて、音楽が音楽らしくまとまっていた。マイクだけとって、平たくならず立体感のある音質となっているのも高く評価できました。

- 放送への安定性・信頼性

電源、DSP、ルーター、コントロール全てが二重化されていることはもちろんですが、フェーダーパネル、モニターパネル、TFTパネルのいずれかがハード的に故障をしても、動作可能なパネルのみで継続使用できること。さらに、コンフィグレーションPCの故障がサーフェスに一切影響を与えないように、バックアップコンフィグレーションPCも容易に起動連携する点も安心できました。

● 実際に使用した感想

これまで使用していた大型アナログコンソールに比べてだいぶコンパクトにはなったうえに、処理入出力数はこれまでよりも格段に増えました。それにもかかわらず、すべての作業を座ったまま行えるなど使い勝手も良くなりました。

音質についても、以前より音の輪郭がはっきりするようになり、継続して使用することになったメインスピーカーの出音もこれまでに比べてすっきりしています。

また、Danteに対応していたことから、Danteを経由させたマルチ再生・収録、トランク回線のDante化を柔軟に行え、そのままARTEMISに簡単に立ち上げられるなど、作業効率も上がっています。



▲ DSP、I/O ラック一式

主要な納入機材

機材	ブランド名	製品名
デジタル・ミキシングコンソール	CALREC	ARTEMIS Light 32 フェーダー

▶ 株式会社ベイエフエム

千葉県千葉市美浜区中瀬 2-6-1 WBG マリブウエスト 27 階
<http://www.bayfm.co.jp>

bayfm78
LOVE OUR BAY LOVE OUR FUTURE

● お問い合わせ先

ヒビノ株式会社 ヒビノプロオーディオセールス Div.
ヒビノインターサウンド株式会社
スチューダー・ジャパンブロードキャスト株式会社

TEL : 03-5783-3110
TEL : 03-5783-3882
TEL : 03-3450-4851

HIBINO

hibino group